

平成30年度

庄原市奨学生 を募集します



教育総務課総務係
☎0824・73・1182

市は、高校・大学・専門学校などに在学、進学する生徒や学生を対象に、奨学金制度を設けています。平成30年度の奨学生を次のとおり募集します。

庄原市奨学金(貸付)制度

【受付期間】 2月16日(金)～4月16日(月)

(郵送の場合は受付期間内必着)

教育総務課または各支所教室へ提出してください。

【応募資格】

- ◆ 父母(父母がいない場合は、父母に代わって家計を支えている方)などが、1年以上市内に住所があること。
- ◆ 高等学校などに在学していること。
- ◆ 学習に意欲を持つと認められること。
- ◆ 経済的理由で修学が困難であると認められること。(所得制限あり)
- ◆ 国・地方公共団体などが行っている奨学金を受けていないこと。
- ◆ 父母などが市税を完納していること。

【提出書類】

- ◆ 庄原市奨学金貸付申請書 *
- ◆ 誓約書 *
- ◆ 父母などの住民票の写し
- ◆ 父母などの直近の市・県民税課税台帳記載事項証明書(平成28年分)

- ◆ 入学を証明する書類または在学証明書
- ◆ 作文 *
- ◆ 認定所得金額計算書 *
- ◆ そのほか教育委員会が必要と認める書類

*の書類は、教育総務課または各支所教室で配布しています。

【貸付月額】

区分		自宅通学	自宅外通学
高等学校 専修学校 (高等課程)	国公立	18,000円	23,000円
	私立	20,000円	25,000円
大学	国公立	30,000円	35,000円
	私立	41,000円	48,000円
短期大学 専修学校 (専門課程)	国公立	30,000円	35,000円
	私立	40,000円	45,000円
高等専門学校 各種学校など	国公立	20,000円	25,000円
	私立	30,000円	35,000円

【利率】 無利子

【返還免除制度】

この奨学金は、卒業した月の翌月から起算して6カ月を経過した後10年以内に返還していただくこととなります。

本市出身者のUターン促進と市内定住促進のため、奨学金の返還開始から3年以上庄原市内に居住し、その間の返還金と市税を完納している方がその後も引き続き庄原市内に居住する場合は、返還免除を受けることができます。

新指定の 重要文化財

生涯学習課文化財係

☎0824・73・1189

市教育委員会は、「木造千手観音坐像」を新たに庄原市重要文化財に指定しました。

1 木造千手観音坐像

附 厨子



木造金泥塗り
像高:16.7cm
光背:総高20.2cm、舟形
台座:総高11.7cm
厨子:縦 24.8cm、横 32.7cm、高 39.9cm
室町時代(明応八年=1499年)

戦国時代、黒岩城を本拠地として口和町西部を支配していた泉氏の菩提寺、黒岩山松岳院の本尊として伝来した千手観音像です。広島藩が江戸時代にまとめた地誌である「芸藩通志」によると、松岳院は初代黒岩城主であった泉三郎左衛門久勝により創建された

とありますが、昭和43年に廃寺となっています。

ヒノキとみられる針葉樹の一枚より製作されています。脇手のうち2本を頭上に挙げ、その上に化仏をのせる清水寺式と呼ばれる千手観音像です。頭上に11の顔面(うち1面は亡失)があり、胸の前で合掌し、膝の上で手のひらを重ねて宝鉢をのせています。頭上に挙げた脇手のほかに、左右各18本の手(左右とも各1本亡失)があり、合計で42本の手があります。

仏教では欲界・色界・無色界という3界に全部で25の世界があると、千手観音は、胸の前で合掌する2本の手を除いた40本の手の一本一本がそれぞれ25の世界に届くので、千本分(25×40)の力があると見なされます。

当時の畿内仏師の作と見られる優れた出来栄ですが、金泥塗りや台座の造りなどが甘く、それらは後世の仕事と推測されます。

厨子は仏像を安置する仏具で、黒漆を塗られており、背面には「明応八日彫像」と朱漆で記されています。本像と一具であると考えられます。年代はこのころと考えられます。

厨子入りの千手観音坐像は全国的にも珍しく、加えて市内はもとより広島県内からも清水寺式の千手観音像はほとんど知られていないため、重要で注目すべきものです。